

法人理念	心と体の発達を大切に 子どもらしい児童、生徒を育てる		
支援方針	<ul style="list-style-type: none"> •子どもの自主性・自発性を伸ばします •成長の基礎となる“運動”を多面的に取り入れます •音楽を取り入れ、子どもが楽しく遊び情緒を育むような環境を提供します •客観的指標による分析も取り入れ、一人ひとりにより合った目標を作成し、子どもにかかわります •専門職(OT、CP、ST)との連携により、質の向上に努めます •家庭や保育園、学校等との連携を図り、包括的な支援に努めます 		
営業時間	9:00~17:00(90分/60分の入れ替え制)	送迎実施の有無	無(基本的に保護者の送迎)

プログラム	支援内容		5領域
小集団活動	挨拶	・「おはようございます」「こんにちわ」の挨拶をする ・手をつないで並び ・呼名に応じる	健康・生活、人間関係・社会性
	リズム体操	・音楽や歌に合わせて…手足をリズムカルに動かし姿勢を保持する、全身で大小などを表現する、模倣する	運動・感覚、認知・行動、言語・コミュニケーション
	絵本読み聞かせ	・本を選ぶ ・着席する ・絵に合わせた言葉や内容を理解する ・良く見る、聞く、考える、興味をもつ	運動・感覚、認知・行動、言語・コミュニケーション
個別活動	粗大運動	・トランポリン、ブランコ、アスレチックなど大型遊具を使った全身運動。 ・スロープ、バランスストーン、階段などを使ったサーキット ☆筋の協調性や平衡感覚を育てる	運動・感覚、認知・行動
	微細運動	・粘土や砂遊び、ブロックなど、掌全体や指先で様々な感触を体験したり、道具を使って形を作る ・のり、はさみ、折り紙、ペンなどを使い、製作や文字あそび、ぬりえなどを行う ☆目と手の協調を育てる	運動・感覚、認知・行動
	集団遊び	・ルールのある遊び ・追いかっこ、かくれんぼ、キャッチボールなど相手や物に合わせて動く活動 ・トランプ、すごろく、カルタなど、言葉を通してやりとりする活動 ☆待つ、他者の気持ちを理解する	運動・感覚、言語・コミュニケーション、人間関係・社会性
ADL	<ul style="list-style-type: none"> •排泄の自立 ・更衣動作の自立に向けて、発達段階に応じた対応 ・手洗い、うがい ・着席する ・食事の挨拶をする •咀嚼や嚥下を行う ・食具を操作する 		健康・生活、運動・感覚

家族支援

・のんこんげんき会(保護者と職員のお話会)の定期開催 ・個別相談(随時;育児について、発達に関して、きょうだい間についてなど)

移行支援

・保育所等訪問支援 ・教育委員会による就学前講話会 ・保育園や学校との連携(電話や相互訪問) ・就園や就学に向けた相談対応

地域支援・地域連携

・保育園や学校との連携(電話や相互訪問)

職員の質の向上

・法人内研修(月1回;発達、障害、発達検査、事例検討、虐待防止など) ・事業所毎研修(月1回;事例検討など) ・外部研修に参加(虐待防止、医ケア児、てんかん、児発管等資格取得など)

主な行事や季節の活動

・季節の活動や製作(例)7月;七夕製作、7・8月;水遊び・夏まつり、12月;クリスマス製作・クリスマス会、節分;製作・豆まき ・運動会、音楽祭 ・避難訓練